

〈大阪支部・神戸事務所〉  
**日本の大学初の試み！ 関西国際大学が  
 行う「キャンパス・マイレージ制度」**

関西国際大学（兵庫県三木市）では、二〇〇四年七月より日本の大学初の試みとして「キャンパス・マイレージ制度」をスタートさせた。これは、航空各社が行っているマイレージ制度の大学版と言える。

関西国際大学では、学生の学習に対する動機づけを強化することが重要と考え、一九九五年から資格・検定取得の受験や、講座受講料等への補助を行い、学生の自発的な学習活動を支援する「パウチャー制度」を設けた。

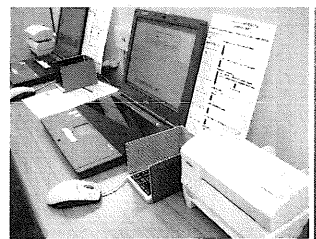
また、一九九九年からは一定以上の単位とGPA（世界標準の成績評価システム）を取得すれば半期学費の五〜一〇％相当額を支給する「学習奨励金」制度を創設した。

「パウチャー制度」は、開始当時から比較すると二〇〇二年頃から利用者にばらつきが見られ低下状況が出てきたこと、また「学習奨励金」は成績中心で対象者が多数派にならないことから多額の学生を対象としたモチベーションを上げる制度がないか模索した結果、「パウチャー制

度」を更に発展させた制度がこの「KUISキャンパス・マイレージ」である。きっかけは、高等教育をテーマに大学の活性化（学生のモチベーション・アップ）の方法を議論していたあるゼミの中から出てきた、教員（現学長）と学生のアイデアからである。

学生の学業成果に加えて、大学がどのような業績や貢献をどの程度評価するのかをあらかじめ明示しておき、学生たちが自らの価値観や嗜好とこれらの評価基準をすり合わせて、到達目標を設定し、それを目安にして学生生活に張り合いを持たせる設計思想だった。

具体的には、学業成果を「基本ポイント」とし自動的に加算する。事前に登録等の手続きをせずに全学生がこの制度に参加できる点が画期的といえる。二つ目として、大学が奨励している活動や資格、認定などの成果を決められた



マイレージ受付システム



学長 濱名 篤 氏

方法で自己申告してもらい「付加ポイント」とで構成されている。そして、このポイント数に応じた特典と交換することが可能になる。

特典には、海外自主研修旅行、電子辞書など学習に寄与する品物、食事券などキャンパスライフに寄与するもの、

各種検定受験料や実費徴収型の学外教育プログラム参加費の一部補助などがある。窓口である学生センターには、現在のポイント数の確認や特典ポイントを利用する引き換えのための「マイレージクーポン券」の発行ができる専用端末を設置して学生の利便性を追求している。

また、制度の適用を定期的にチェックする「レフリー・コミッティ」という委員会を教員、事務職員、学生有志により構成し設置している。制度への新たな要望が出された場合や見直しが必要な場合でもこの委員会での都度協議されている。

表 KUISキャンパス・マイレージ ポイントの仕組み

- 「基本ポイント」（自動加算）
 

科目ごとの5段階評価（0～4ポイント） （例）オール5（4ポイント）×160単位（4年間）=640ポイント
--
- 「付加ポイント」の一例（自己申告）
 

資格取得・検定合格（5～10ポイント） 学内行事ヘルパー（5～25ポイント） クラブ活動・全国大会（15～40ポイント） 学生会役員（10～20ポイント） ボランティア参加（1～2ポイント）他 ＊半期上限を50ポイントとする。 ＊半期で70ポイント以上の学生は、100ポイントにジャンプアップする。 ＊基本・付加ポイントにかかわらず500ポイントを超えたら1.5倍、700ポイントを超えたら従来の2倍のポイントが加算される。 ＊申請は毎年7月末と1月に行う。
---
- 特典（春学期と秋学期の学期初めに使用可）の例
 

海外自主研修旅行 航空券とホテル代 （アメリカ、ベトナム、中国、韓国等）800～1000ポイント 学習に寄与する品物 （電子辞書、電子ブックプレーヤー、PDA端末等）700ポイント キャンパスライフに寄与するもの （学内合宿参加型参加利用補助、卒業アルバム、各種証明書、駐車料金、スクールバス定期券、食事券等）2～200ポイント 各種検定受験料（英語検定、簿記検定など）や実費徴収型の学外教育プログラムの参加費一部補助 10～50ポイント
--

【関西国際大学ホームページ <http://www.kuins.ac.jp/>】